

# 日本製 二重断熱煙突 設置ガイド



ハゼ折り煙突との互換性はございませんのでご注意ください。

## 溶接煙突 シングル

【材厚】 ステンレス 0.5mm  
黒耐熱 0.5mm



## 溶接煙突 接続部材



日本製二重断熱煙突用インアダプター

## 溶接煙突 二重

【材質】 黒耐熱 0.5mm  
※黒耐熱塗装品のみのご用意となります



二重煙突は優れた保温性で煤の付着を軽減。  
水の侵入をも防ぐ、堅牢で美しい仕上げ。

黒耐熱



日本製二重断熱煙突

	シングル	二重
材質	SUS304ステンレス TIG溶接	SUS304ステンレス TIG溶接
仕様	・逆挿し式 排煙側 ↑ ↓ ストープ側	・ロック式 ・断熱材（セラミックファイバーブランケット）入り 排煙側 ↑ ↓ ロック ストープ側

**警告** P34~35 に明記された内容を順守すること。  
**警告** 順守されない場合、低温炭化による火災や排煙の逆流等が発生するおそれがあります。

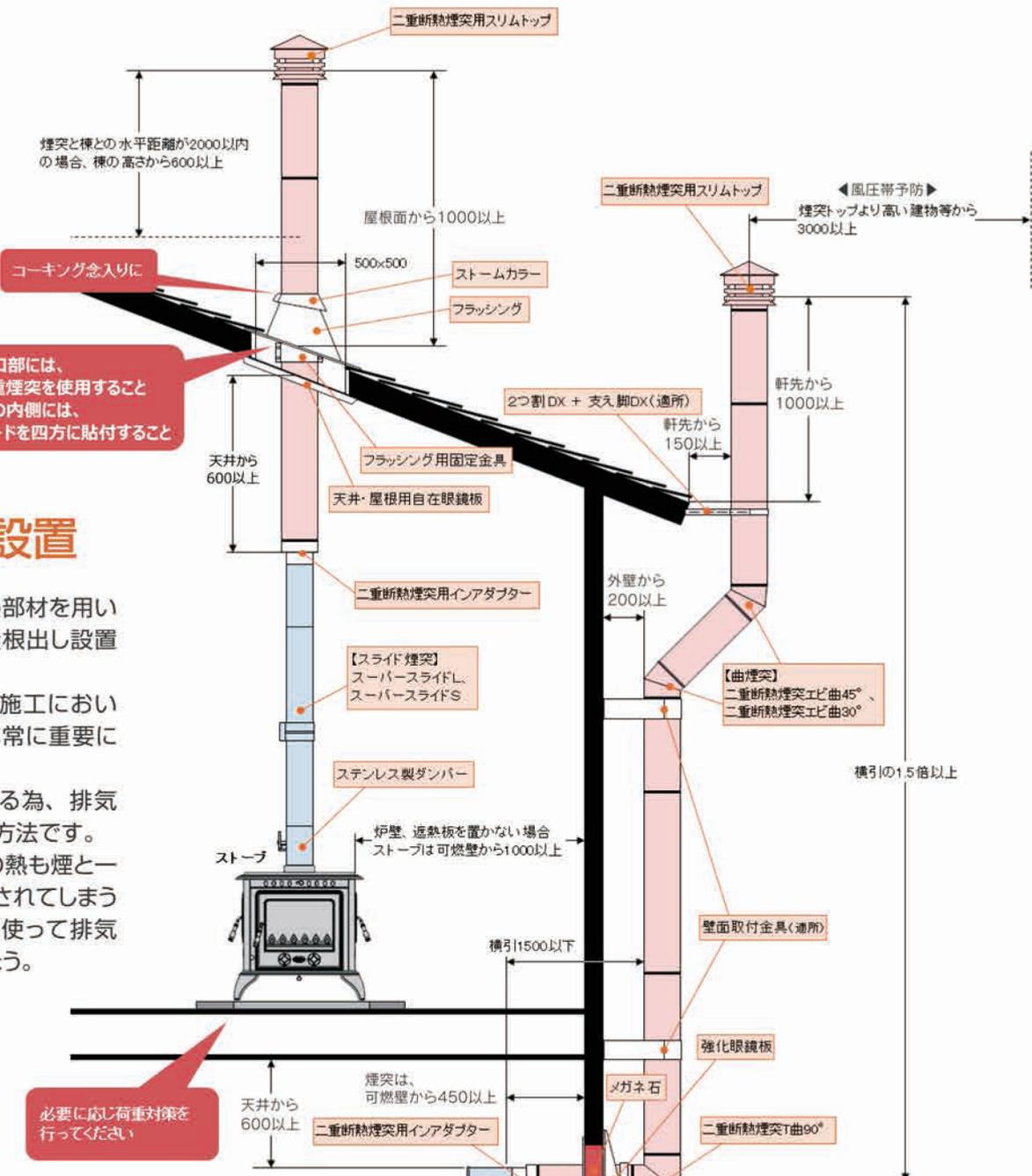
●...シングル煙突  
 ●...二重煙突

## 屋根出し設置

フラッシングという部材を用いた一般的な煙突屋根出し設置です。

屋根を抜くため、施工においては雨仕舞いが非常に重要になります。

煙がまっすぐ抜ける為、排気効率に優れた設置方法です。しかし、ストーブの熱も煙と一緒に煙突から排気されてしまうので、ダンパーを使って排気効率を調節しましょう。



**警告** 屋根開口部には、必ず二重煙突を使用すること  
 開口部の内側には、不燃ボードを四方に貼付すること

必要に応じ荷重対策を行ってください

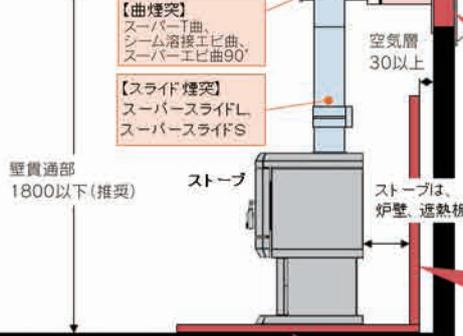
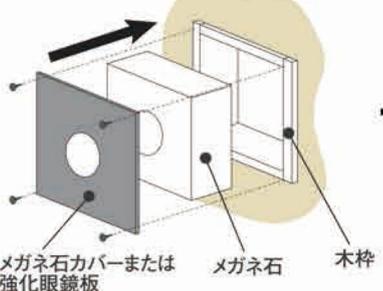
**警告** 煙突の壁貫通部には、必ず壁の厚み以上のマグネ石を入れること

**警告** 不燃材料で炉壁・遮熱板を作り、可燃壁に伝わる熱を有効に遮断すること

**警告** 不燃材料で炉台・ストーブ台を作り、可燃床に伝わる熱を有効に遮断すること

## 壁出し設置

壁出し設置は施工が容易なため、DIYでは最もポピュラーな設置方法です。

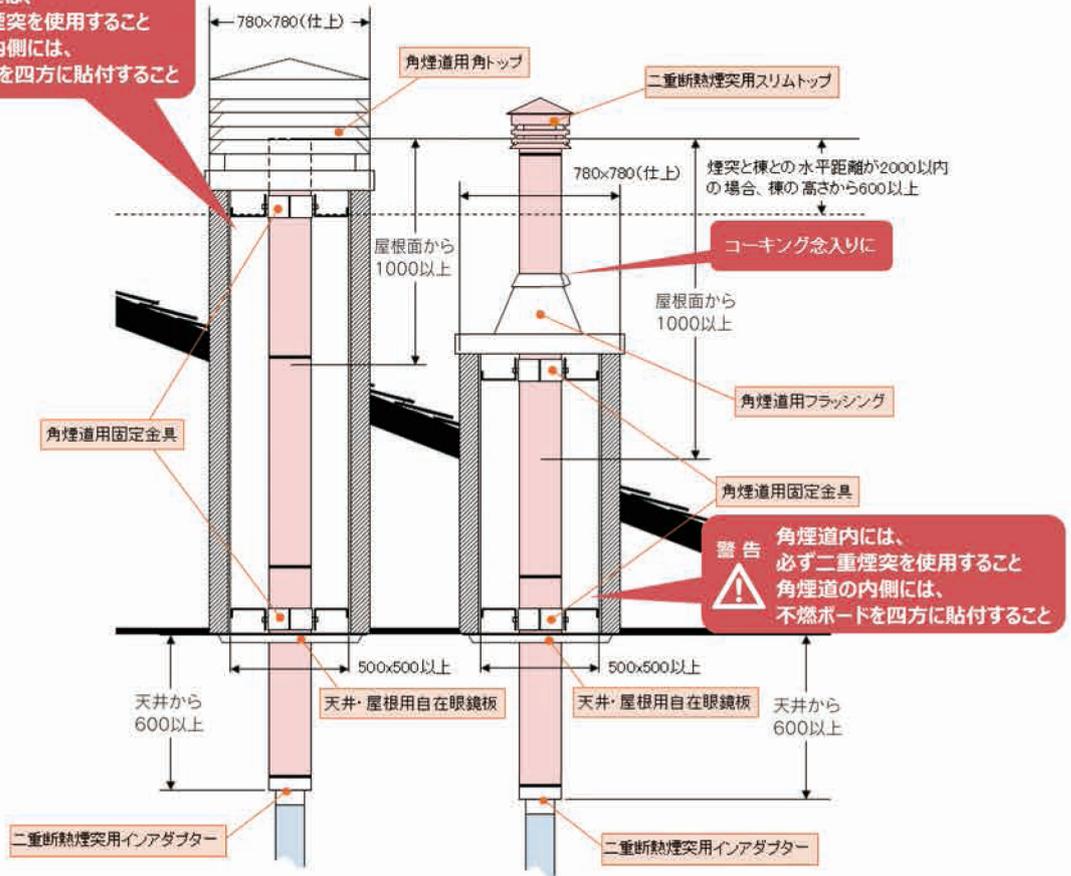




警告  
角煙道内には、  
必ず二重煙突を使用すること  
角煙道の内側には、  
不燃ボードを四方に貼付すること

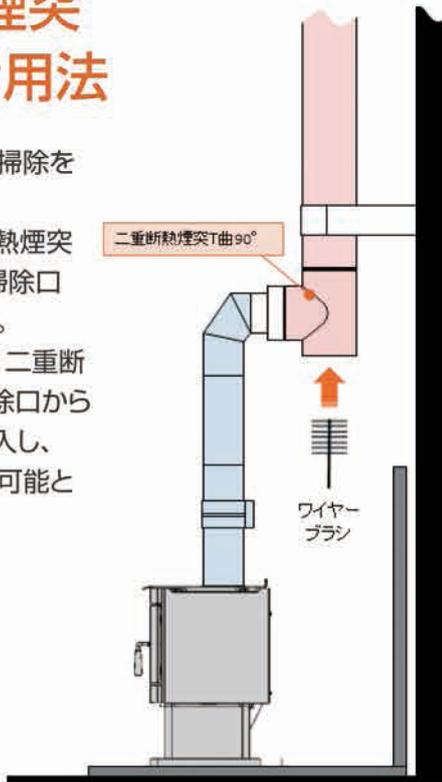
## 屋根出し 角煙道設置

屋根出し設置は左ページの  
フラッシング設置のほかに、  
角煙道による2通りの方法  
があります。  
角煙道の造作が必要になり  
設置コストが高めになりま  
すが、美観に優れた設置ス  
タイルです。



## 二重断熱煙突 T曲90°活用法

屋根出し設置で煙突掃除を  
容易にするために、  
右図のように二重断熱煙突  
T曲90°を活用して掃除口  
を設けるのも手です。  
煙突を外さなくても、二重断  
熱煙突T曲90°の掃除口から  
ワイヤーブラシを挿入し、  
室内から煙突掃除が可能と  
なります。



## 排煙効率を考えつつ、 煙突掃除のしやすい設計を

煙突はただの排気パイプではありません。ストーブの燃焼をも左右する重要な部品ですので、最適な排煙を行うためにも設置ガイドの指示をお守りくださいますようお願いいたします。

また、ストーブを使用しますと必ず煙突内部には煤やタールといった不純物が付着します。不純物が多く溜まるとストーブの燃焼に支障が出たり、最悪の場合煙道火災（煙突内部で起こる火事）が発生し危険です。定期的に煙突掃除を行い不純物を取り除く必要がございますので、煙突の設計には“煙突掃除のし易さ”を考慮することが重要となります。

「掃除の際に安定した足場が確保できるか?」「最小限の手間で行えるか?」なども考えた煙突設計を行いましょう。



## 知っておこう、ストーブ関連法令

・建築基準法施工例 第115条

・建設省告示 第1404号

・国土交通省告示 第225号

・消防法 第9条

・火災予防条例 (各市町村)